

ダイヤモンドプリンセス号出港の際に 遺愛生へのお礼に10回も汽笛が!!

函館港若松埠頭（ふとう）に5月2日、大型外国クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」（11万5,906トン、米プリセンス・クルーズ社運航）が入港しました。同船の入港はコロナ前の2019年9月11日以来3年8カ月ぶりでした。

岸壁では客船ボランティアを担当する遺愛生が横断幕を掲げて大歓迎しました。プリンセス・クルーズ社と遺愛高校は、客船ボランティアを通じて交流を深め、18年には同社のオーストラリア発着の豪華客船に約1週間乗船する語学研修にも取り組んでいました。コロナ禍のために運航を中止した時期には、再開を心待ちにしているメッセージを込めた動画を遺愛生が製作し、同社に贈ったこともありました。

この日は3年生64人がボランティアに参加。夕方、ダイヤモンド・プリンセス号は遺愛生による「いか踊り」に見送られ、午後5時に出港しました。その際にはプリンセス号側が、これまでの感謝をこめて異例の10回の汽笛をならし、次の寄港地に向いました。

2023年5月6日（土）

